

さきぞん 会社説明会

このまちであなたと・・・
地域の活力をみらいへつなぐ銀行

2019年11月

※本編は2019年6月に開催いたしました会社説明会の資料の一部について
計数に関する部分を2019年9月期の計数に置き換えたものです。

このまちで、あなたと
 佐賀銀行

目次

1. 2019年度中間期損益の状況	・・・	2
2. 対顧客利益の推移	・・・	4
3. 預貸金の状況	・・・	5
4. 有価証券の状況	・・・	6
5. 不良債権比率の推移	・・・	8
6. 自己資本比率の推移	・・・	9
7. 統合的リスク管理	・・・	10

1. 2019年度中間期損益の状況

(単位：百万円)

項 目	番号	2018年度 中間期	2019年度 中間期	前年比	備 考	
業務粗利益	1	9,936	13,671	+3,735		
資金利益	2	12,097	11,969	△ 128	貸出金平残【除く地公体・政府系】	+2.7% (+372億円)
資金運用収益	3	12,312	12,168	△ 144	貸出金平残【除く地公体】(佐賀・長崎)	+1.7% (+108億円)
貸出金利息	4	9,249	9,190	△ 59	貸出金平残【除く地公体】(福岡)	+2.4% (+159億円)
(貸出金利息【除く地公体・政府系】)		(8,814)	(8,816)	(+2)	貸出金利回り	1.171% ⇒ 1.051% (△0.120%)
貸出金利回り【除く地公体・政府系】						1.292% ⇒ 1.258% (△0.034%)
有価証券利息配当金	5	2,985	2,870	△ 115		
その他	6	78	107	+29		
資金調達費用	7	215	199	△ 16	預金等平残	+3.6% (+816億円)
預金等利息	8	157	163	+6	預金等利回り	0.014% ⇒ 0.014% (±0.000%)
その他	9	57	36	△ 21	総資金利鞘	0.11% (前年比 +0.03%)
役務取引等利益	10	1,029	1,400	+371		
役務取引等収益	11	3,021	3,381	+360	法人ビジネス関係 +189、預かり金融資産 +105、受入為替 +10	
// 費用	12	1,991	1,981	△ 10		
特定取引利益	13	27	—	△27	債券ディーリング業務廃止	
その他業務利益	14	△ 3,217	301	+3,518	2018年度ポートフォリオ合理化分 +2,924、投信・外貨建外債売却 +646	
経費	15	11,201	10,643	△ 558	人件費 △281、物件費 △209、税金 △68	
実質業務純益	16	△ 1,264	3,027	+4,291		
クレジットコスト	17	1,613	1,153	△ 460	クレジットコスト	= 0.13% (前年比△0.07ポイント)
一般貸倒引当金繰入額	18	541	△ 67	△ 608	貸出金平残	
個別 // //	19	1,051	1,162	+111		
債権売却損等	20	20	57	+37		
貸倒引当金戻入益 (△)	21	—	—	—		
その他の臨時損益	22	4,879	△ 159	△ 5,038	株式売却損益 △4,793	
経常利益	23	2,000	1,714	△ 286		
特別損益	24	569	△ 14	△ 583	+要因：固定資産減損等 △170、-要因：固定資産処分益 △754	
税引前当期純利益	25	2,570	1,699	△ 871		
法人税等・法人税等調整額	26	841	593	△ 248		
当期純利益	27	1,728	1,105	△ 623		

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

1. 2019年度中間期損益の状況（つづき）

業務純益についての補足説明

金額単位：百万円

項目	No.	2018年度中間期	2019年度中間期	前年比	備考
業務純益（2+13）	1	△ 1,806	3,095	4,901	
実質業務純益（3+12）	2	△ 1,264	3,027	4,291	
コア業務純益	3	1,707	2,431	724	
資金利益	4	12,097	11,969	△ 128	
役務取引等利益	5	1,029	1,400	371	法人ビジネス、預かり金融資産等
特定取引利益	6	27	—	△27	
その他業務利益【除く国債等関係損益】	7	△ 245	△ 294	△ 49	
外国為替売買損益	8	△ 270	△ 335	△ 65	
その他	9	25	40	15	
経費（△）	10	11,201	10,643	△ 558	
コア業務純益（投信解約損益除く）	11	1,587	2,254	667	投信解約損益 2018年度：119、2019年度：177
国債等関係損益（5勘定戻）	12	△ 2,971	596	3,567	2018年度ポート良化策による売却損が影響
一般貸倒引当金繰入額（△）	13	541	△ 67	△ 608	
臨時損益	14	3,806	△ 1,380	△ 5,186	
うち 株式等関係損益（3勘定戻）	15	4,793	0	△ 4,793	上記ポート良化策に伴う株式売却益が影響
うち 与信費用【除く一般貸倒引当金】	16	1,072	1,220	148	
経常利益（1+14）	17	2,000	1,714	△ 286	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

2. 対顧客利益の推移

(単位：百万円)

項目	No.	2016年度		2017年度		2018年度		2019年度(予想)		【参考】 2019年9月期 (実績)	
			増減		増減		増減		増減		増減
対顧客利益	1=2+5-6	△ 3,018	7	△ 2,407	611	△ 1,731	676	△ 170	1,561	△ 216	864
預貸金利息	2=3-4	17,717	△ 19	18,012	295	18,240	228	18,600	360	9,027	△ 65
貸出金利息	3	18,343	△ 405	18,443	100	18,559	116	18,900	341	9,190	△ 59
△預金等利息	4	626	△ 386	431	△ 195	319	△ 112	300	△ 19	163	6
役務利益	5	2,496	△ 397	2,257	△ 239	2,271	14	3,030	759	1,400	371
△経費	6	23,231	△ 423	22,676	△ 555	22,242	△ 434	21,800	△ 442	10,643	△ 558

※対顧客利益：預貸金利息＋役務利益－経費

3. 預貸金の状況

1. 貸出金の状況

(単位：百万円)

		2018年度上期	2019年度上期	前年比	
貸出金全体	平残	1,574,173	1,743,244	+169,071	
	利回り	1.171%	1.051%	△ 0.120%	
	利息	9,249	9,190	△ 59	
うち事業性	平残	917,188	945,400	+28,212	
	利回り	0.971%	0.946%	△ 0.025%	
	利息	4,465	4,488	+23	
うち住宅ローン	平残	349,325	355,937	+6,612	
	利回り	1.182%	1.150%	△ 0.032%	
	利息	2,071	2,053	△ 18	
うち消費者ローン	平残	47,610	45,982	△ 1,628	
	利回り	7.404%	7.421%	+0.017%	
	利息	1,767	1,711	△ 56	
貸出金全体 (除く地公体・政府系)		平残	1,360,290	1,397,512	+37,222
		利回り	1.292%	1.258%	△ 0.034%
		利息	8,814	8,816	+2

※ 百万円未満は切り捨てて表示しております。

※ 貸出金の状況における事業性貸出金、住宅ローン、消費者ローンの平残については、管理会計の正常貸出金ベースで作成しております。

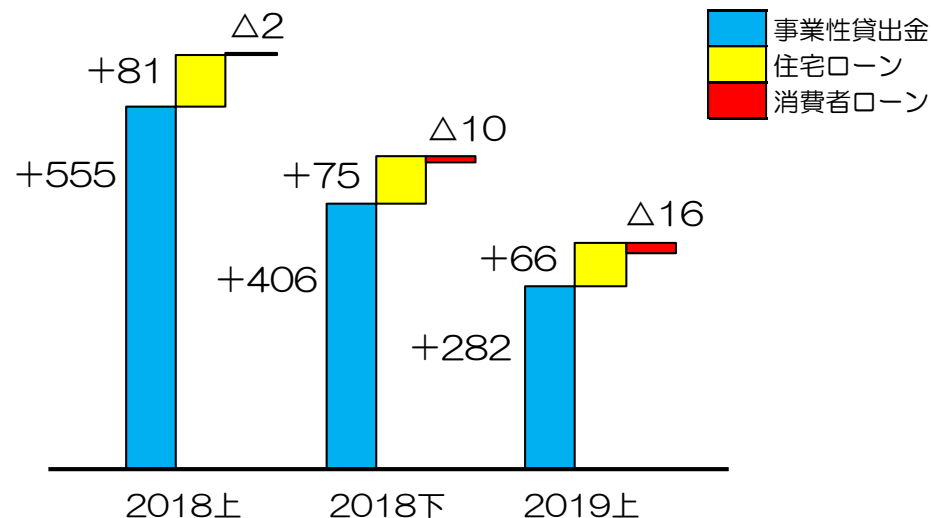
2. 預金等の状況

(単位：百万円)

		2018年度上期	2019年度上期	前年比
預金等全体	平残	2,242,071	2,323,689	+81,618
	利回り	0.014%	0.014%	+0.000%
	利息	157	163	+6
うち個人預金	平残	1,490,587	1,519,093	+28,506
うち法人預金	平残	587,426	618,344	+30,918

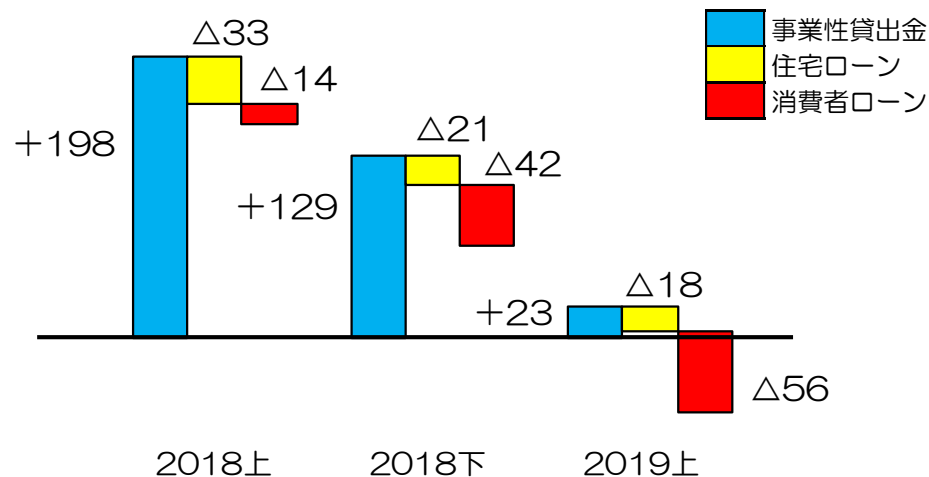
※ 百万円未満は切り捨てて表示しております。

《貸出金平残半期別前年比》【営業店合計】



※ 単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

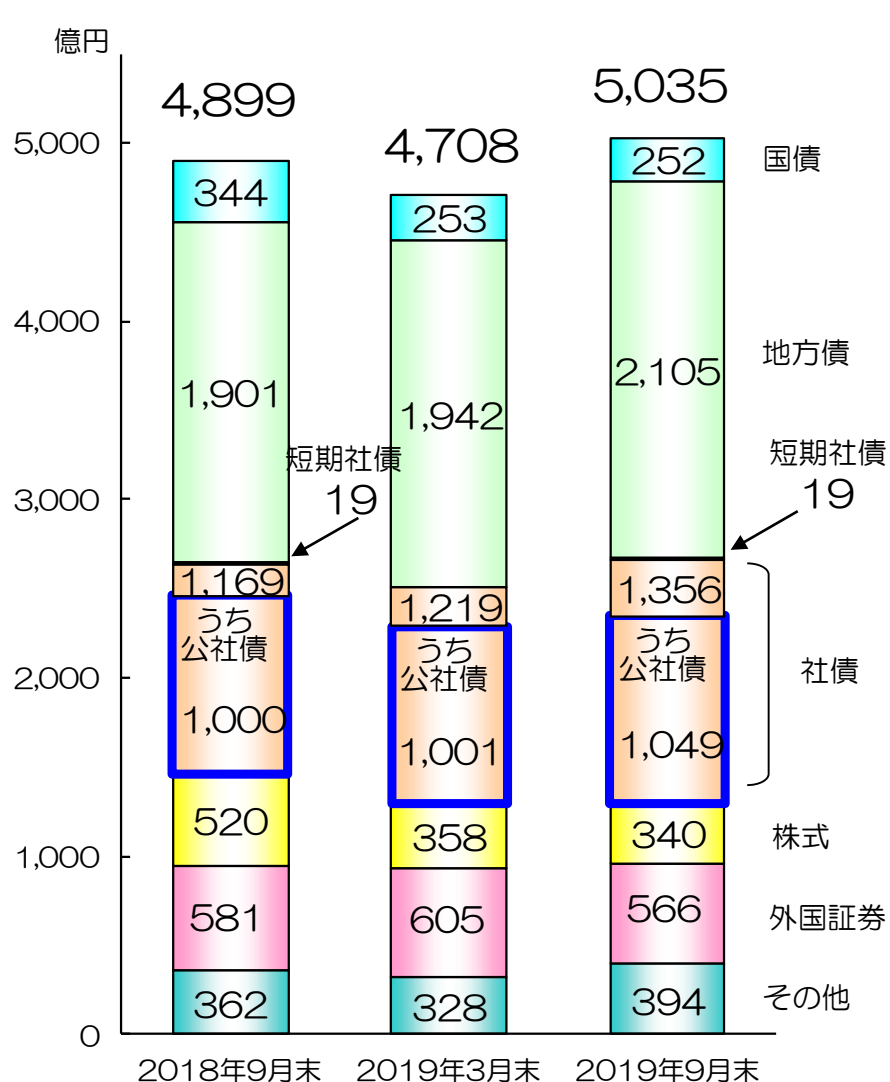
《貸出金利息半期別前年比》【営業店合計】



※ 単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

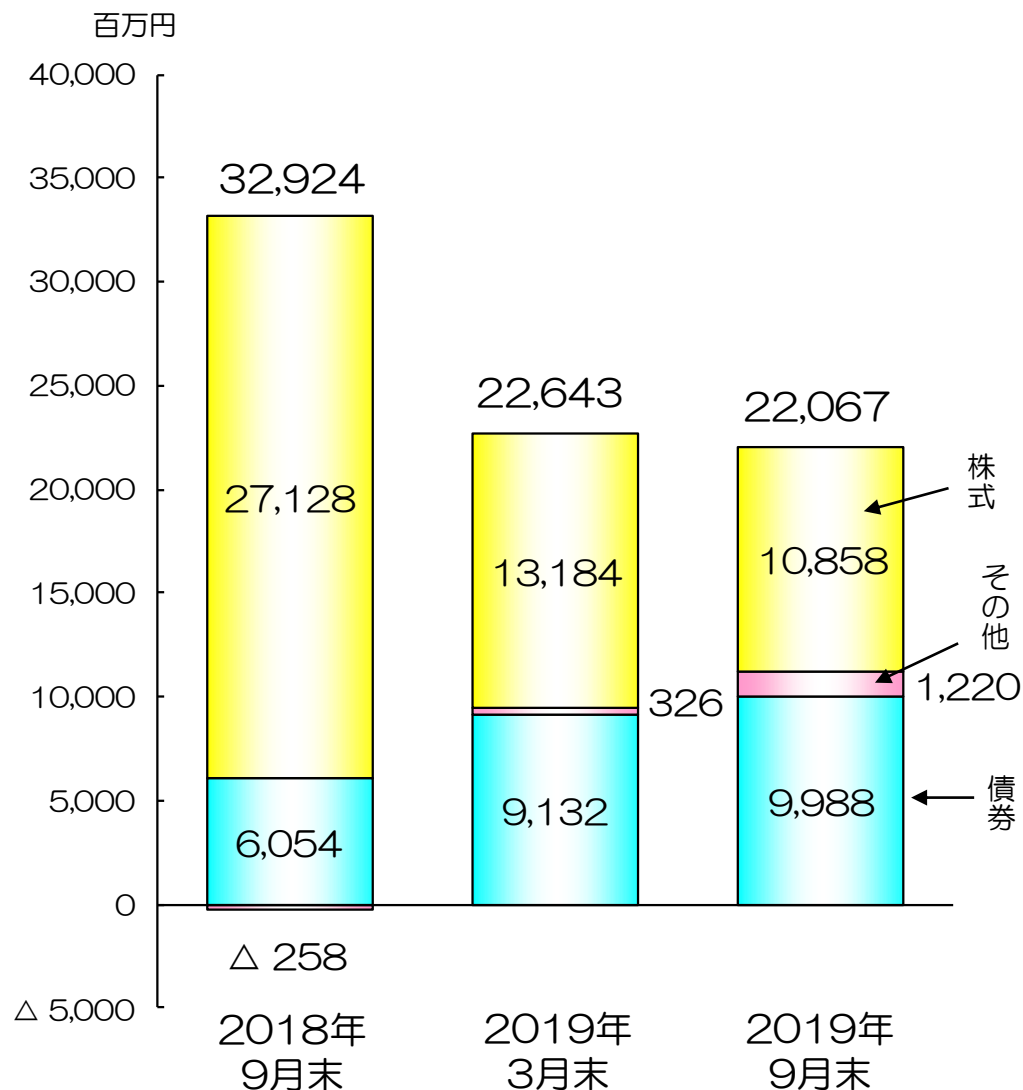
4. 有価証券の状況

1. 有価証券残高（BS計上額）



※億円未満は切り捨てて表示しております。

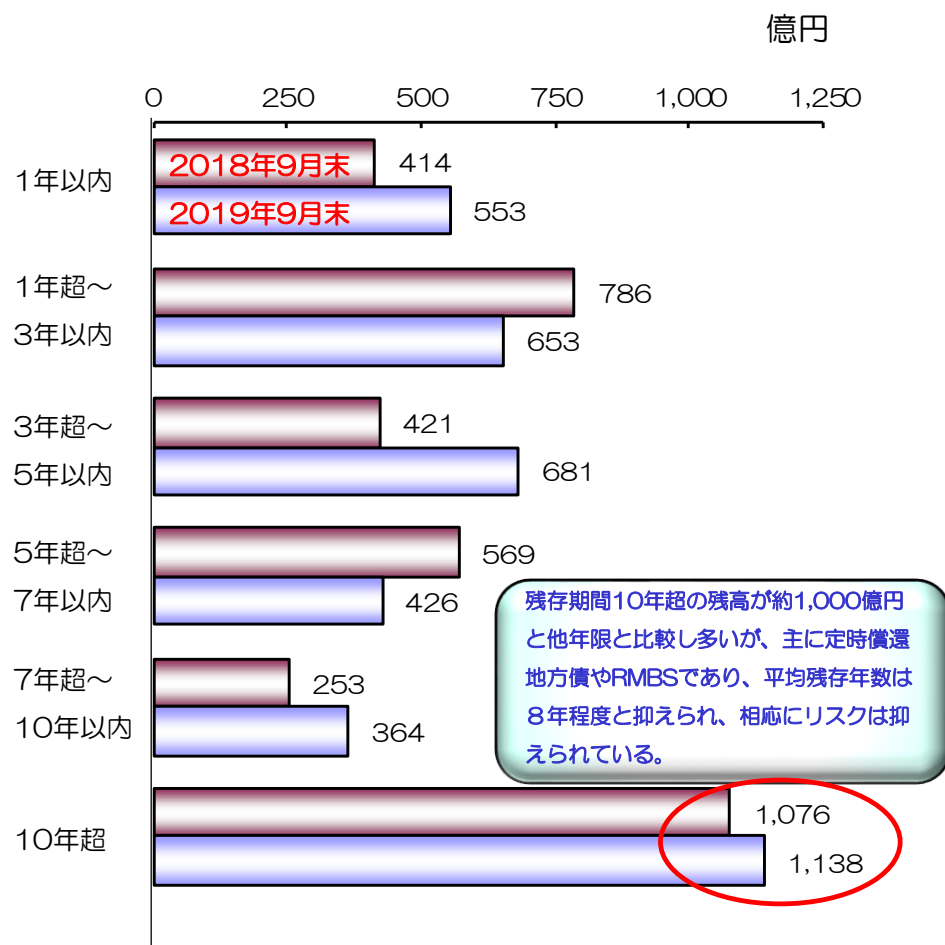
2. 「その他有価証券」の評価損益



※百万円未満は切り捨てて表示しております。

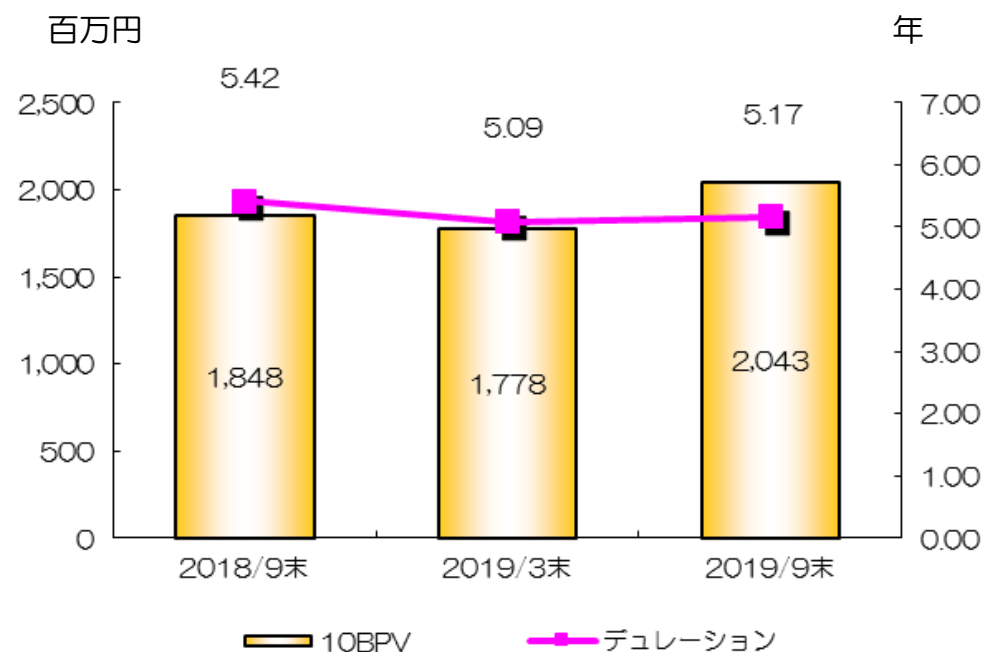
4. 有価証券の状況（つづき）

3. 円建債券の残存期間別残高



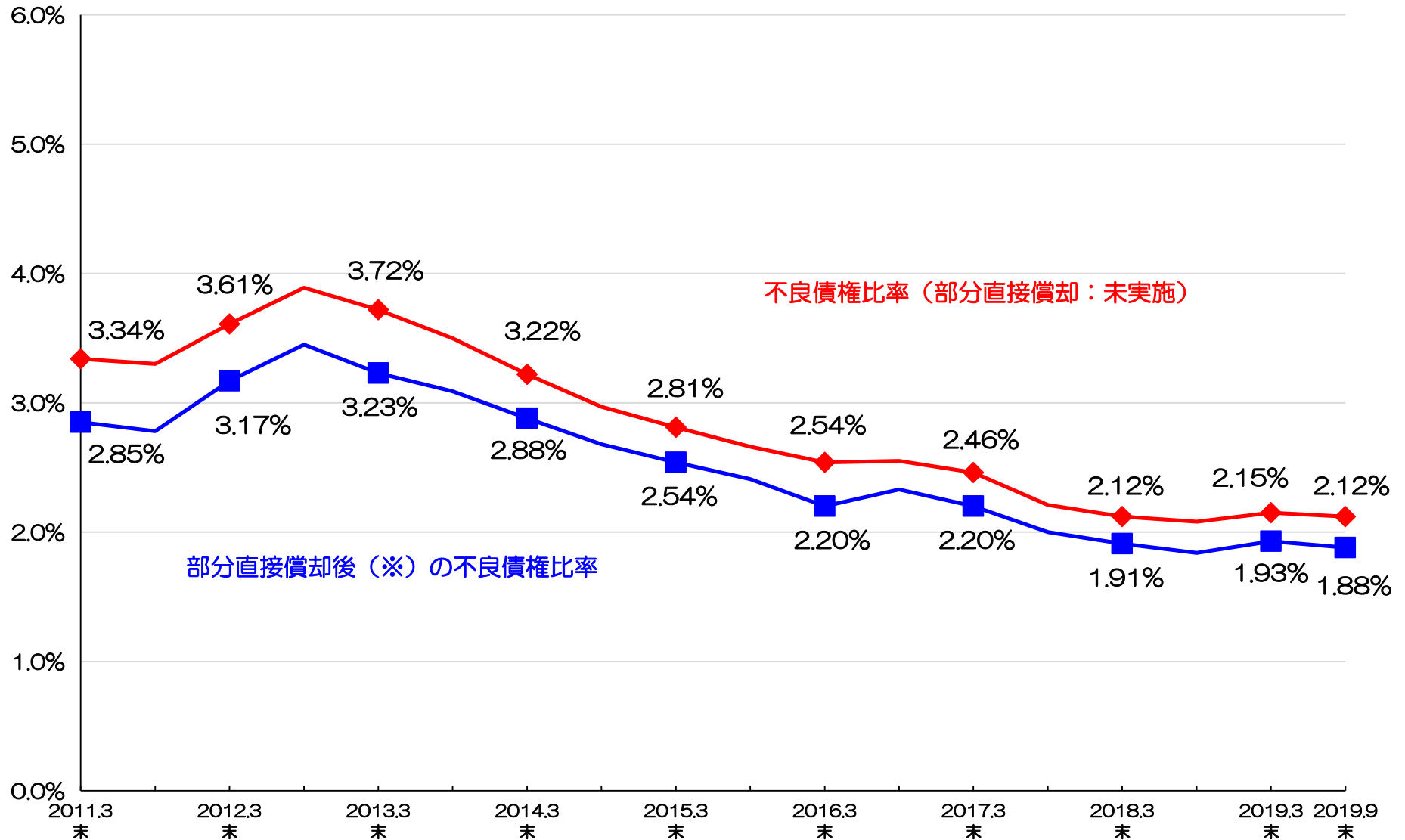
※億円未満は切り捨てて表示しております。
 ※「1年以内」には変動利付債を含んでおります。

4. 円建債券の平均残存期間と10BPV



※デュレーションおよび10BPVはヘッジ考慮後にて算出。

5. 不良債権比率の推移



※部分直接償却とは

自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（IV分類金額）を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

※当行は「部分直接償却」を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上している。

6. 自己資本比率の推移

【単体】

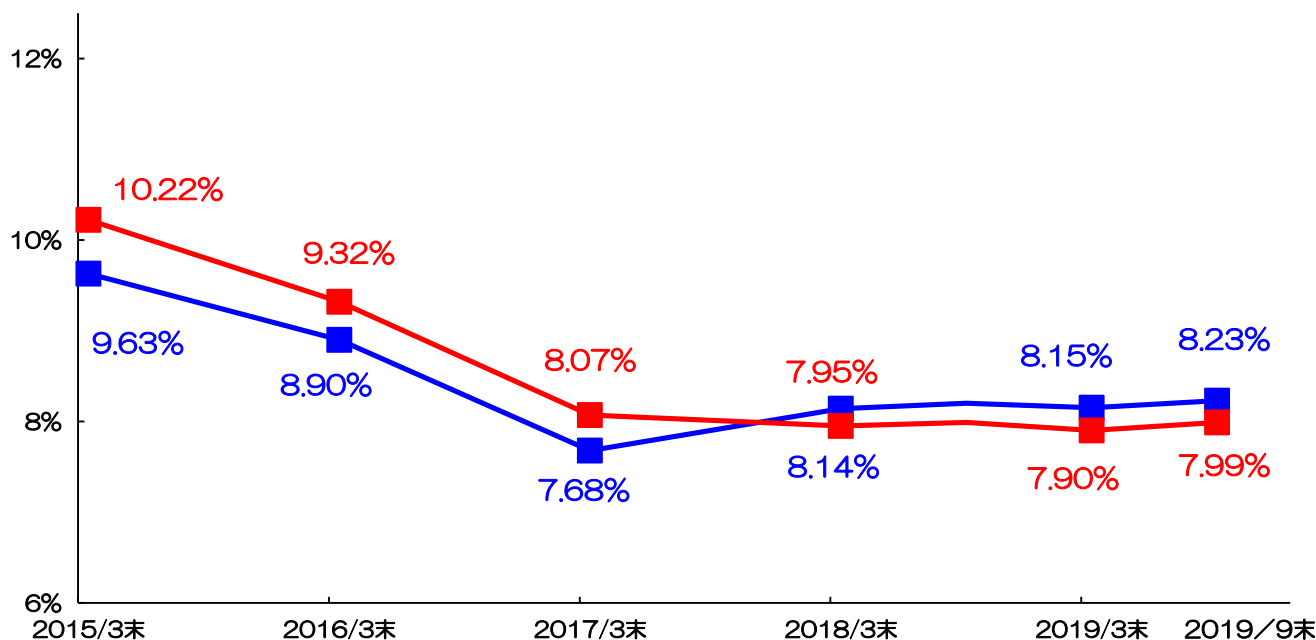
(単位：百万円)

【連結】

(単位：百万円)

		2019/3末	2019/9末	(2019/3末比)
自己資本	A	108,275	108,893	+618
リスクアセット	B	1,328,468	1,322,592	△ 5,876
自己資本比率 (C=A/B)	C	8.15%	8.23%	+0.08%

		2019/3末	2019/9末	(2019/3末比)
		105,351	106,137	+786
		1,332,016	1,327,032	△ 4,984
		7.90%	7.99%	+0.09%



※信用リスクは「標準的手法」、オペレーショナルリスクは「基礎的手法」。

【自己資本】

2019年9月期は2019年3月期と比べ利益の積み上げにより、自己資本が増加しました。

【リスクアセット】

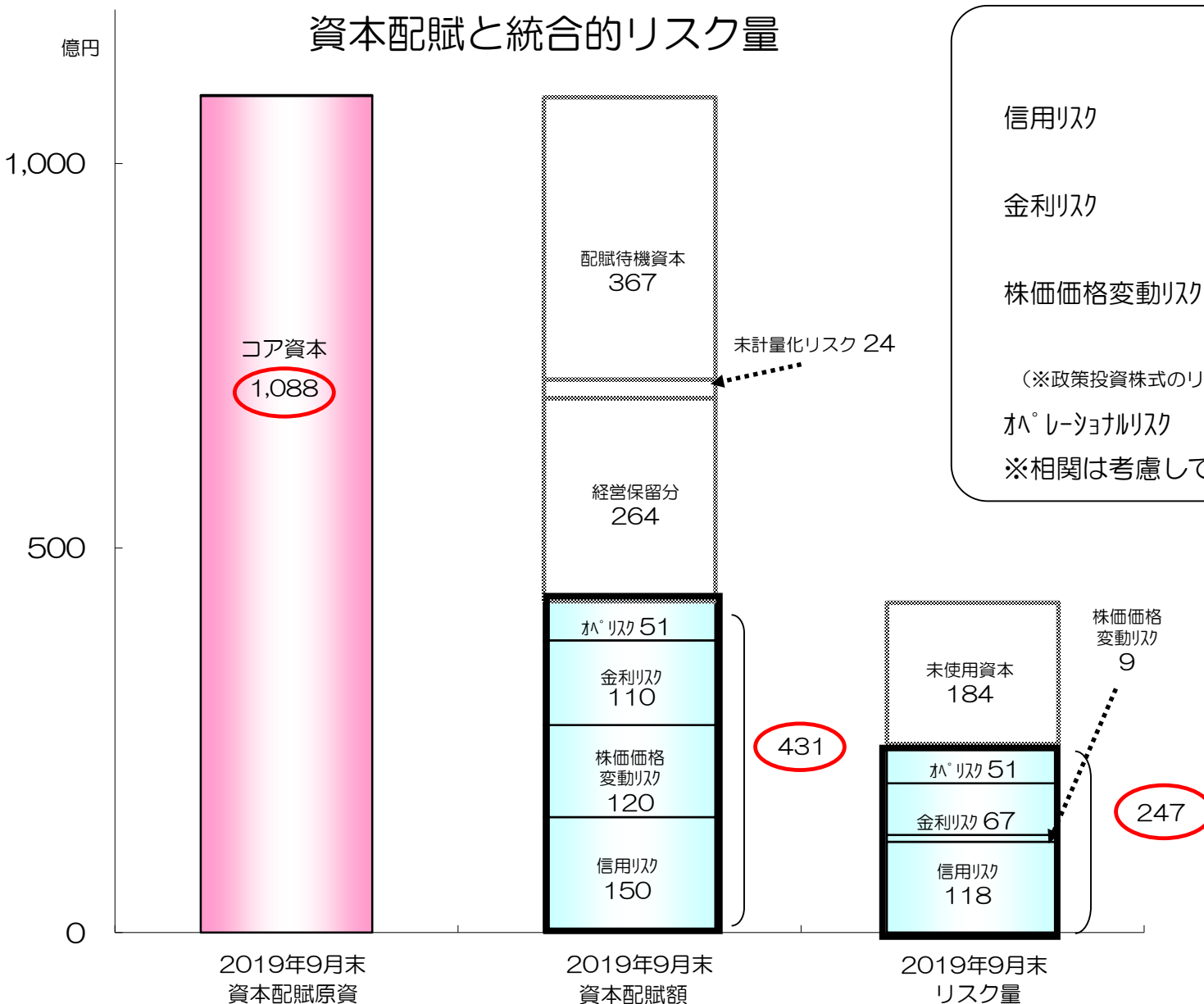
2019年9月期は2019年3月期と比べ貸出金残高が増加した一方で、リスクアセットの大部分を占める貸出金の平均リスクウェイトが低下した事により、リスクアセットが減少しました。

<資本政策の基本方針>

当行は経営の健全性維持の観点から、内部留保の充実を図り必要な経営体力を維持していくとともに、持続的な株主価値の向上を図る観点から資本効率を意識した資本政策を実施していきます。また、配当につきましては、長期にわたる安定的な経営基盤の確保に努め、安定配当を行うことを基本方針としております。

7. 統合的リスク管理

資本配賦と統合的リスク量



リスク計測基準

信用リスク	… 保有期間	1年
	… 信頼区間	99%
金利リスク	… 保有期間	1~60日
	… 信頼区間	99%
株価価格変動リスク	… 保有期間	20~125日
	… 信頼区間	99%

(※政策投資株式のリスク量=政策投資株式VaR-その評価損益)

オペレーショナルリスク … 基礎的手法
 ※相関は考慮しておりません。

※億円未満は切り捨てにて表示

【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行
収益管理室
担当 大串、上村

TEL 0952-25-4553

本資料に記載された将来の予測等は資料作成時点の当行の判断であり、
将来の業績等を保証するものではありません。

今後、経営環境の変化などにより、変更される可能性があることにご留意く
ださい。

また、本資料は当行の財務状況および今後の経営ビジョンに関する情報の提
供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。